

【表紙】

【提出書類】	半期報告書の訂正報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年4月10日
【中間会計期間】	第78期中（自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日）
【会社名】	株式会社明治座
【英訳名】	MEIJIZA CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 三田 芳裕
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋浜町二丁目31番1号
【電話番号】	03(3660)3971
【事務連絡者氏名】	経理部長 田原 豊久
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋浜町二丁目31番1号
【電話番号】	03(3660)3971
【事務連絡者氏名】	経理部長 田原 豊久
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社の第74期（自 平成19年9月1日 至 平成20年8月31日）連結決算において、株式会社芳町会館を連結決算に加えた際の土地の連結簿価額に誤りがあることが判明いたしました。

これにより、当社が平成24年5月30日に提出いたしました第78期中（自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日）に係る半期報告書の一部を訂正する必要が生じたので、半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の中間連結財務諸表については、監査法人セントラルにより監査を受けており、その中間監査報告書を添付しております。

また、中間連結財務諸表の記載内容に係る訂正箇所については、XBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式データ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

(1) 連結経営指標等

第2 事業の状況

7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(2) 財政状態の分析

第5 経理の状況

1 中間連結財務諸表等

(1) 中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

中間連結株主資本等変動計算書

注記事項

（中間連結貸借対照表関係）

（賃貸等不動産関係）

（セグメント情報等）

（1株当たり情報）

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(1) 連結経営指標等

(訂正前)

回次	第76期中	第77期中	第78期中	第76期	第77期
会計期間	自平成21年 9月1日 至平成22年 2月28日	自平成22年 9月1日 至平成23年 2月28日	自平成23年 9月1日 至平成24年 2月29日	自平成21年 9月1日 至平成22年 8月31日	自平成22年 9月1日 至平成23年 8月31日
売上高 (千円)	5,738,558	6,381,343	6,706,822	13,015,258	13,119,555
経常利益又は経常損失 (千円)	130,219	95,105	36,185	15,227	229,830
中間純利益又は中間(当期)純損失 (千円)	329,865	55,857	15,447	447,324	34,554
中間包括利益又は包括利益 (千円)	-	25,385	23,850	-	33,825
純資産額 (千円)	<u>1,923,264</u>	<u>1,774,316</u>	<u>1,769,411</u>	<u>1,819,601</u>	<u>1,765,459</u>
総資産額 (千円)	<u>27,040,891</u>	<u>25,714,786</u>	<u>24,505,307</u>	<u>25,762,659</u>	<u>24,939,236</u>
1株当たり純資産額 (円)	<u>483.20</u>	<u>442.58</u>	<u>446.77</u>	<u>450.73</u>	<u>443.27</u>
1株当たり中間純利益金額又は中間(当期)純損失金額 (円)	82.88	14.04	3.88	112.39	8.68
潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益金額 (円)	-	-	-	-	-
自己資本比率 (%)	<u>7.1</u>	<u>6.9</u>	<u>7.3</u>	<u>7.0</u>	<u>7.1</u>
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	238,538	364,474	233,089	1,072,356	1,166,960
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	254,656	40,104	48,265	311,970	10,293
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	384,684	307,658	433,020	755,311	962,586
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高 (千円)	1,178,021	831,240	780,999	814,528	1,029,195
従業員数 (外、平均臨時雇用人員) (人)	407 (269)	366 (330)	331 (284)	394 (295)	348 (313)

(注) 1. 売上高には消費税等は含まれておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益金額については、第78期中は潜在株式が存在しないため、第76期中、第77期中、第76期及び第77期は1株当たり中間(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 第77期中の中間包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

(訂正後)

回次	第76期中	第77期中	第78期中	第76期	第77期
会計期間	自平成21年 9月1日 至平成22年 2月28日	自平成22年 9月1日 至平成23年 2月28日	自平成23年 9月1日 至平成24年 2月29日	自平成21年 9月1日 至平成22年 8月31日	自平成22年 9月1日 至平成23年 8月31日
売上高 (千円)	5,738,558	6,381,343	6,706,822	13,015,258	13,119,555
経常利益又は経常損失 (千円)	130,219	95,105	36,185	15,227	229,830
中間純利益又は中間(当期)純損失 (千円)	329,865	55,857	15,447	447,324	34,554
中間包括利益又は包括利益 (千円)	-	25,385	23,850	-	33,825
純資産額 (千円)	<u>1,493,818</u>	<u>1,344,870</u>	<u>1,339,965</u>	<u>1,390,155</u>	<u>1,336,013</u>
総資産額 (千円)	<u>26,611,445</u>	<u>25,285,340</u>	<u>24,075,861</u>	<u>25,333,213</u>	<u>24,509,790</u>
1株当たり純資産額 (円)	<u>375.31</u>	<u>334.68</u>	<u>338.87</u>	<u>342.83</u>	<u>335.37</u>
1株当たり中間純利益金額又は中間(当期)純損失金額 (円)	82.88	14.04	3.88	112.39	8.68
潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益金額 (円)	-	-	-	-	-
自己資本比率 (%)	<u>5.6</u>	<u>5.3</u>	<u>5.6</u>	<u>5.4</u>	<u>5.5</u>
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	238,538	364,474	233,089	1,072,356	1,166,960
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	254,656	40,104	48,265	311,970	10,293
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	384,684	307,658	433,020	755,311	962,586
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高 (千円)	1,178,021	831,240	780,999	814,528	1,029,195
従業員数 (外、平均臨時雇用人員) (人)	407 (269)	366 (330)	331 (284)	394 (295)	348 (313)

(注) 1. 売上高には消費税等は含まれておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益金額については、第78期中は潜在株式が存在しないため、第76期中、第77期中、第76期及び第77期は1株当たり中間(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 第77期中の中間包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

第2【事業の状況】

7【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)

(2) 財政状態の分析

資産の部

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、2,223百万円（前連結会計年度末は2,173百万円）となり50百万円増加しました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が376百万円増加しましたが、現金及び預金が266百万円及びたな卸資産が46百万円減少したこと等によるものであります。固定資産の残高は、22,201百万円（前連結会計年度末は22,689百万円）となり488百万円減少しました。この主な要因は、建物及び構築物の取得による増加15百万円、機械装置及び運搬具の取得4百万円、工具、器具及び備品の取得6百万円、リース資産の増加65百万円及び減価償却費の計上585百万円等によるものであります。

負債の部

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、11,337百万円（前連結会計年度末は10,450百万円）となり887百万円増加しました。この主な要因は、三井不動産(株)からの預り敷金のうち884百万円を平成25年1月に返還することから、884百万円を固定負債の長期預り敷金保証金から流動負債の預り敷金に振替したこと等によるものであります。固定負債の残高は、11,398百万円（前連結会計年度末は12,723百万円）となり1,325百万円減少しました。この主な要因は、上記長期預り敷金保証金の減少等884百万円の振替減、退任役員への退職慰労金の支給による役員退職慰労引当金48百万円の減少及び長期借入金が387百万円減少したこと等によるものであります。

純資産の部

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、1,769百万円（前連結会計年度末は1,765百万円）となり3百万円増加しました。この主な要因は、中間純利益15百万円の計上と、その他有価証券評価差額金が18百万円増加したこと及び配当金の支払19百万円等によるものであります。

(訂正後)

(2) 財政状態の分析

資産の部

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、2,223百万円（前連結会計年度末は2,173百万円）となり50百万円増加しました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が376百万円増加しましたが、現金及び預金が266百万円及びたな卸資産が46百万円減少したこと等によるものであります。固定資産の残高は、21,771百万円（前連結会計年度末は22,260百万円）となり488百万円減少しました。この主な要因は、建物及び構築物の取得による増加15百万円、機械装置及び運搬具の取得4百万円、工具、器具及び備品の取得6百万円、リース資産の増加65百万円及び減価償却費の計上585百万円等によるものであります。

負債の部

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、11,337百万円（前連結会計年度末は10,450百万円）となり887百万円増加しました。この主な要因は、三井不動産(株)からの預り敷金のうち884百万円を平成25年1月に返還することから、884百万円を固定負債の長期預り敷金保証金から流動負債の預り敷金に振替したこと等によるものであります。固定負債の残高は、11,398百万円（前連結会計年度末は12,723百万円）となり1,325百万円減少しました。この主な要因は、上記長期預り敷金保証金の減少等884百万円の振替減、退任役員への退職慰労金の支給による役員退職慰労引当金48百万円の減少及び長期借入金が387百万円減少したこと等によるものであります。

純資産の部

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、1,339百万円（前連結会計年度末は1,336百万円）となり3百万円増加しました。この主な要因は、中間純利益15百万円の計上と、その他有価証券評価差額金が18百万円増加したこと及び配当金の支払19百万円等によるものであります。

第5【経理の状況】

1．中間連結財務諸表及び中間財務諸表の作成方法について

(1) 当社の中間連結財務諸表は、「中間連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成11年大蔵省令第24号)に基づいて作成しております。

(2) 当社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和52年大蔵省令第38号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、中間連結会計期間(平成23年9月1日から平成24年2月29日まで)の中間連結財務諸表及び中間会計期間(平成23年9月1日から平成24年2月29日まで)の中間財務諸表について、監査法人セントラルにより中間監査を受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、中間連結会計期間(平成23年9月1日から平成24年2月29日まで)の中間連結財務諸表及び中間会計期間(平成23年9月1日から平成24年2月29日まで)の中間財務諸表について、監査法人セントラルにより中間監査を受けております。

なお、半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の中間連結財務諸表について、監査法人セントラルにより中間監査を受けております。

—

1 【中間連結財務諸表等】

(1) 【中間連結財務諸表】

【中間連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当中間連結会計期間 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,116,169	849,982
受取手形及び売掛金	648,720	1,024,732
たな卸資産	168,242	121,499
繰延税金資産	77,767	75,910
その他	172,792	163,657
貸倒引当金	10,390	12,390
流動資産合計	2,173,303	2,223,392
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2 14,120,662	2 13,650,663
機械装置及び運搬具(純額)	116,942	102,451
工具、器具及び備品(純額)	877,145	866,402
土地	2 5,468,157	2 5,468,157
リース資産(純額)	641,363	643,129
その他(純額)	-	3,360
有形固定資産合計	1 21,224,271	1 20,734,165
無形固定資産		
その他	2 506,348	2 502,639
無形固定資産合計	506,348	502,639
投資その他の資産		
投資有価証券	495,730	518,133
長期貸付金	20,156	17,962
繰延税金資産	95,081	85,979
その他	350,149	342,291
貸倒引当金	2,052	52
投資その他の資産合計	959,065	964,314
固定資産合計	22,689,685	22,201,119
繰延資産		
社債発行費	76,247	80,796
繰延資産合計	76,247	80,796
資産合計	24,939,236	24,505,307

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当中間連結会計期間 (平成24年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	955,775	1,109,045
短期借入金	² 370,000	² 540,000
1年内返済予定の長期借入金	² 5,712,408	² 5,451,203
1年内償還予定の社債	2,094,000	2,236,000
リース債務	142,244	155,381
未払法人税等	11,624	29,168
預り敷金	106,371	991,298
賞与引当金	71,499	33,444
その他	986,200	791,878
流動負債合計	10,450,123	11,337,419
固定負債		
社債	2,629,500	2,650,500
長期借入金	² 6,410,922	² 6,023,051
リース債務	481,236	458,778
繰延税金負債	67,258	62,281
退職給付引当金	230,452	256,210
役員退職慰労引当金	139,697	90,897
長期預り敷金保証金	2,412,045	1,529,069
負ののれん	3,612	1,806
その他	348,927	325,880
固定負債合計	12,723,653	11,398,476
負債合計	23,173,776	22,735,896
純資産の部		
株主資本		
資本金	200,000	200,000
資本剰余金	698	698
利益剰余金	1,507,519	1,503,067
自己株式	7,624	7,624
株主資本合計	1,700,593	1,696,142
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,590	81,963
その他の包括利益累計額合計	63,590	81,963
少数株主持分	1,275	8,694
純資産合計	1,765,459	1,769,411
負債純資産合計	24,939,236	24,505,307

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当中間連結会計期間 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,116,169	849,982
受取手形及び売掛金	648,720	1,024,732
たな卸資産	168,242	121,499
繰延税金資産	77,767	75,910
その他	172,792	163,657
貸倒引当金	10,390	12,390
流動資産合計	2,173,303	2,223,392
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2 14,120,662	2 13,650,663
機械装置及び運搬具(純額)	116,942	102,451
工具、器具及び備品(純額)	877,145	866,402
土地	2 5,038,711	2 5,038,711
リース資産(純額)	641,363	643,129
その他(純額)	-	3,360
有形固定資産合計	1 20,794,825	1 20,304,719
無形固定資産		
その他	2 506,348	2 502,639
無形固定資産合計	506,348	502,639
投資その他の資産		
投資有価証券	495,730	518,133
長期貸付金	20,156	17,962
繰延税金資産	95,081	85,979
その他	350,149	342,291
貸倒引当金	2,052	52
投資その他の資産合計	959,065	964,314
固定資産合計	22,260,239	21,771,673
繰延資産		
社債発行費	76,247	80,796
繰延資産合計	76,247	80,796
資産合計	24,509,790	24,075,861

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当中間連結会計期間 (平成24年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	955,775	1,109,045
短期借入金	² 370,000	² 540,000
1年内返済予定の長期借入金	² 5,712,408	² 5,451,203
1年内償還予定の社債	2,094,000	2,236,000
リース債務	142,244	155,381
未払法人税等	11,624	29,168
預り敷金	106,371	991,298
賞与引当金	71,499	33,444
その他	986,200	791,878
流動負債合計	10,450,123	11,337,419
固定負債		
社債	2,629,500	2,650,500
長期借入金	² 6,410,922	² 6,023,051
リース債務	481,236	458,778
繰延税金負債	67,258	62,281
退職給付引当金	230,452	256,210
役員退職慰労引当金	139,697	90,897
長期預り敷金保証金	2,412,045	1,529,069
負ののれん	3,612	1,806
その他	348,927	325,880
固定負債合計	12,723,653	11,398,476
負債合計	23,173,776	22,735,896
純資産の部		
株主資本		
資本金	200,000	200,000
資本剰余金	698	698
利益剰余金	1,078,073	1,073,621
自己株式	7,624	7,624
株主資本合計	1,271,147	1,266,696
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,590	81,963
その他の包括利益累計額合計	63,590	81,963
少数株主持分	1,275	8,694
純資産合計	1,336,013	1,339,965
負債純資産合計	24,509,790	24,075,861

【中間連結株主資本等変動計算書】
(訂正前)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	200,000	200,000
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	-	-
当中間期末残高	200,000	200,000
資本剰余金		
当期首残高	698	698
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	-	-
当中間期末残高	698	698
利益剰余金		
当期首残高	1,561,971	1,507,519
当中間期変動額		
剰余金の配当	19,898	19,898
中間純利益又は中間純損失()	55,857	15,447
当中間期変動額合計	75,756	4,451
当中間期末残高	1,486,215	1,503,067
自己株式		
当期首残高	7,624	7,624
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	-	-
当中間期末残高	7,624	7,624
株主資本合計		
当期首残高	1,755,046	1,700,593
当中間期変動額		
剰余金の配当	19,898	19,898
中間純利益又は中間純損失()	55,857	15,447
当中間期変動額合計	75,756	4,451
当中間期末残高	1,679,290	1,696,142

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	59,955	63,590
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	32,756	18,373
当中間期変動額合計	32,756	18,373
当中間期末残高	92,711	81,963
繰延ヘッジ損益		
当期首残高	21,108	
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	10,560	-
当中間期変動額合計	10,560	-
当中間期末残高	10,547	
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	38,847	63,590
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	43,317	18,373
当中間期変動額合計	43,317	18,373
当中間期末残高	82,164	81,963
少数株主持分		
当期首残高	25,707	1,275
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	12,845	9,969
当中間期変動額合計	12,845	9,969
当中間期末残高	12,862	8,694
純資産合計		
当期首残高	1,819,601	1,765,459
当中間期変動額		
剰余金の配当	19,898	19,898
中間純利益又は中間純損失()	55,857	15,447
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	30,472	8,403
当中間期変動額合計	45,284	3,952
当中間期末残高	1,774,316	1,769,411

(訂正後)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 平成22年 9月 1日 至 平成23年 2月28日)	当中間連結会計期間 (自 平成23年 9月 1日 至 平成24年 2月29日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	200,000	200,000
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	-	-
当中間期末残高	200,000	200,000
資本剰余金		
当期首残高	698	698
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	-	-
当中間期末残高	698	698
利益剰余金		
当期首残高	1,132,525	1,078,073
当中間期変動額		
剰余金の配当	19,898	19,898
中間純利益又は中間純損失()	55,857	15,447
当中間期変動額合計	75,756	4,451
当中間期末残高	1,056,769	1,073,621
自己株式		
当期首残高	7,624	7,624
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	-	-
当中間期末残高	7,624	7,624
株主資本合計		
当期首残高	1,325,600	1,271,147
当中間期変動額		
剰余金の配当	19,898	19,898
中間純利益又は中間純損失()	55,857	15,447
当中間期変動額合計	75,756	4,451
当中間期末残高	1,249,844	1,266,696

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	59,955	63,590
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	32,756	18,373
当中間期変動額合計	32,756	18,373
当中間期末残高	92,711	81,963
繰延ヘッジ損益		
当期首残高	21,108	
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	10,560	-
当中間期変動額合計	10,560	-
当中間期末残高	10,547	
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	38,847	63,590
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	43,317	18,373
当中間期変動額合計	43,317	18,373
当中間期末残高	82,164	81,963
少数株主持分		
当期首残高	25,707	1,275
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	12,845	9,969
当中間期変動額合計	12,845	9,969
当中間期末残高	12,862	8,694
純資産合計		
当期首残高	1,390,155	1,336,013
当中間期変動額		
剰余金の配当	19,898	19,898
中間純利益又は中間純損失()	55,857	15,447
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	30,472	8,403
当中間期変動額合計	45,284	3,952
当中間期末残高	1,344,870	1,339,965

【注記事項】

(中間連結貸借対照表関係)

(訂正前)

前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当中間連結会計期間 (平成24年2月29日)																												
<p>1.有形固定資産の減価償却累計額は16,906,516千円です。</p> <p>2.担保資産及び担保付債務 担保に供している資産は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">建物</td> <td style="text-align: right;">13,814,472千円</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td style="text-align: right;">5,464,553千円</td> </tr> <tr> <td>借地権</td> <td style="text-align: right;">478,408千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">19,757,434千円</td> </tr> </table> <p>担保付債務は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">短期借入金</td> <td style="text-align: right;">320,000千円</td> </tr> <tr> <td>長期借入金(注)</td> <td style="text-align: right;">11,471,414千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">11,791,414千円</td> </tr> </table> <p>(注) 1年以内返済予定額を含む。</p>	建物	13,814,472千円	土地	5,464,553千円	借地権	478,408千円	計	19,757,434千円	短期借入金	320,000千円	長期借入金(注)	11,471,414千円	計	11,791,414千円	<p>1.有形固定資産の減価償却累計額は17,488,091千円です。</p> <p>2.担保資産及び担保付債務 担保に供している資産は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">建物</td> <td style="text-align: right;">13,363,702千円</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td style="text-align: right;">5,464,553千円</td> </tr> <tr> <td>借地権</td> <td style="text-align: right;">478,408千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">19,306,664千円</td> </tr> </table> <p>担保付債務は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">短期借入金</td> <td style="text-align: right;">400,000千円</td> </tr> <tr> <td>長期借入金(注)</td> <td style="text-align: right;">10,917,507千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">11,317,507千円</td> </tr> </table> <p>(注) 1年以内返済予定額を含む。</p>	建物	13,363,702千円	土地	5,464,553千円	借地権	478,408千円	計	19,306,664千円	短期借入金	400,000千円	長期借入金(注)	10,917,507千円	計	11,317,507千円
建物	13,814,472千円																												
土地	5,464,553千円																												
借地権	478,408千円																												
計	19,757,434千円																												
短期借入金	320,000千円																												
長期借入金(注)	11,471,414千円																												
計	11,791,414千円																												
建物	13,363,702千円																												
土地	5,464,553千円																												
借地権	478,408千円																												
計	19,306,664千円																												
短期借入金	400,000千円																												
長期借入金(注)	10,917,507千円																												
計	11,317,507千円																												

(訂正後)

前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当中間連結会計期間 (平成24年2月29日)																												
<p>1.有形固定資産の減価償却累計額は16,906,516千円です。</p> <p>2.担保資産及び担保付債務 担保に供している資産は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">建物</td> <td style="text-align: right;">13,814,472千円</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td style="text-align: right;">5,035,107千円</td> </tr> <tr> <td>借地権</td> <td style="text-align: right;">478,408千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">19,327,988千円</td> </tr> </table> <p>担保付債務は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">短期借入金</td> <td style="text-align: right;">320,000千円</td> </tr> <tr> <td>長期借入金(注)</td> <td style="text-align: right;">11,471,414千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">11,791,414千円</td> </tr> </table> <p>(注) 1年以内返済予定額を含む。</p>	建物	13,814,472千円	土地	5,035,107千円	借地権	478,408千円	計	19,327,988千円	短期借入金	320,000千円	長期借入金(注)	11,471,414千円	計	11,791,414千円	<p>1.有形固定資産の減価償却累計額は17,488,091千円です。</p> <p>2.担保資産及び担保付債務 担保に供している資産は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">建物</td> <td style="text-align: right;">13,363,702千円</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td style="text-align: right;">5,035,107千円</td> </tr> <tr> <td>借地権</td> <td style="text-align: right;">478,408千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">18,877,218千円</td> </tr> </table> <p>担保付債務は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">短期借入金</td> <td style="text-align: right;">400,000千円</td> </tr> <tr> <td>長期借入金(注)</td> <td style="text-align: right;">10,917,507千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">11,317,507千円</td> </tr> </table> <p>(注) 1年以内返済予定額を含む。</p>	建物	13,363,702千円	土地	5,035,107千円	借地権	478,408千円	計	18,877,218千円	短期借入金	400,000千円	長期借入金(注)	10,917,507千円	計	11,317,507千円
建物	13,814,472千円																												
土地	5,035,107千円																												
借地権	478,408千円																												
計	19,327,988千円																												
短期借入金	320,000千円																												
長期借入金(注)	11,471,414千円																												
計	11,791,414千円																												
建物	13,363,702千円																												
土地	5,035,107千円																												
借地権	478,408千円																												
計	18,877,218千円																												
短期借入金	400,000千円																												
長期借入金(注)	10,917,507千円																												
計	11,317,507千円																												

(賃貸等不動産関係)

(訂正前)

前連結会計年度(自 平成22年9月1日 至 平成23年8月31日)

当社及び一部の連結子会社では、東京都その他の地域において、賃貸用のテナントビル等を有しております。平成23年8月期における当該賃貸等不動産に関する賃貸損益は670,431千円(賃貸収入は売上高に、賃貸費用は売上原価に計上)であります。

また、賃貸等不動産の連結貸借対照表計上額、当期増減額及び時価は、次のとおりであります。

連結貸借対照表計上額(千円)			当連結会計年度末の時価 (千円)
当連結会計年度期首残高	当連結会計年度増減額	当連結会計年度末残高	
10,018,543	829,136	10,847,680	12,215,461

- (注) 1. 連結貸借対照表計上額は、取得価額から減価償却累計額を控除した金額であります。
2. 当連結会計年度増減額のうち、主な増加額は森下スタジオの建設(591,655千円)によるものであります。
3. 当期末の時価は、不動産鑑定士による不動産鑑定評価により算定しております。

当中間連結会計期間(自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)

賃貸等不動産の中間連結貸借対照表計上額及び中間連結決算日における時価に、前連結会計年度の末日に比して著しい変動が認められないため、記載を省略しております。

(訂正後)

前連結会計年度(自 平成22年9月1日 至 平成23年8月31日)

当社及び一部の連結子会社では、東京都その他の地域において、賃貸用のテナントビル等を有しております。平成23年8月期における当該賃貸等不動産に関する賃貸損益は670,431千円(賃貸収入は売上高に、賃貸費用は売上原価に計上)であります。

また、賃貸等不動産の連結貸借対照表計上額、当期増減額及び時価は、次のとおりであります。

連結貸借対照表計上額(千円)			当連結会計年度末の時価 (千円)
当連結会計年度期首残高	当連結会計年度増減額	当連結会計年度末残高	
9,589,097	829,136	10,418,234	12,215,461

- (注) 1. 連結貸借対照表計上額は、取得価額から減価償却累計額を控除した金額であります。
2. 当連結会計年度増減額のうち、主な増加額は森下スタジオの建設(591,655千円)によるものであります。
3. 当期末の時価は、不動産鑑定士による不動産鑑定評価により算定しております。

当中間連結会計期間(自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)

賃貸等不動産の中間連結貸借対照表計上額及び中間連結決算日における時価に、前連結会計年度の末日に比して著しい変動が認められないため、記載を省略しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

前中間連結会計期間(自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「興行事業」、「附帯事業」、「不動産事業」及び「内装工事業」の4つを報告セグメントとしております。

「興行事業」は、明治座における演劇の興行を行っております。「附帯事業」は、明治座における売店販売及び食堂販売、会議や葬儀等のケータリングサービス、浜町亭、夢やぐら、葆の里、ニュー葆里湛、六本木濱田家等の居酒屋・料理店の経営を行っております。「不動産事業」は、浜町センタービル、明治座森下スタジオ、人形町ACTビル等の不動産賃貸を行っております。「内装工事業」は、建物の内装及び設備工事を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益(のれん償却前)ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	興行事業	附帯事業	不動産事業	内装工事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,451,373	1,734,176	796,299	1,579,316	5,561,165	820,178	6,381,343
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,590	559	35,823	358	38,333	5,125	43,458
計	1,452,964	1,734,736	832,123	1,579,674	5,599,498	825,303	6,424,802
セグメント利益又はセグメント損失()	61,750	58,628	325,251	39,529	361,660	132,410	494,070
セグメント資産	5,224,804	2,070,081	11,255,752	954,909	19,505,547	57,212	19,562,759
その他の項目							
減価償却費	185,664	83,995	318,883	112	588,656	2,782	591,438

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、他劇場の演劇制作の請負及び運営管理、広告・宣伝の取扱、劇場・テレビ用の大道具製作、俳優養成及び芸能プロダクション経営事業等を含んでおります。

4. 報告セグメント合計額と中間連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

売上高	金額
報告セグメント計	5,599,498
「その他」の区分の売上高	825,303
セグメント間取引消去	43,458
中間連結財務諸表の売上高	6,381,343

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	361,660
「その他」の区分の利益	132,410
セグメント間取引消去	185
のれんの消去	461
全社費用（注）	202,687
中間連結財務諸表の営業利益	290,064

（注） 全社費用は、主に親会社本社の総務部門、経理部門等管理部門に係る一般管理費であります。

（単位：千円）

資産	金額
報告セグメント計	19,505,547
「その他」の区分の資産	57,212
全社資産（注）	6,152,026
中間連結財務諸表の資産合計	25,714,786

（注） 全社資産は、主に親会社での余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）及び管理部門に係る資産等であります。

（単位：千円）

その他の項目	報告セグメント計	調整額	中間連結財務諸表計上額
減価償却費	588,656	8,333	596,989

当中間連結会計期間（自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日）

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「興行事業」、「附帯事業」、「不動産事業」及び「内装工事事業」の4つを報告セグメントとしております。

「興行事業」は、明治座における演劇の興行を行っております。「附帯事業」は、明治座における売店販売及び食堂販売、会議や葬儀等のケータリングサービス、浜町亭、夢やぐら、葆の里、ニュー葆里港、六本木濱田家等の居酒屋・料理店の経営を行っております。「不動産事業」は、浜町センタービル、明治座森下スタジオ、人形町ACTビル等の不動産賃貸を行っております。「内装工事事業」は、建物の内装及び設備工事を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益（のれん償却前）ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	興行事業	附帯事業	不動産事業	内装工事 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,519,908	1,632,569	766,792	1,835,846	5,755,116	951,706	6,706,822
セグメント間の内部 売上高又は振替高	806	624	35,823	710	37,965	195,498	233,464
計	1,520,714	1,633,194	802,616	1,836,556	5,793,081	1,147,205	6,940,287
セグメント利益又はセ グメント損失()	170,863	69,468	313,840	77,390	289,835	171,580	461,416
セグメント資産	4,906,838	2,115,440	10,985,717	843,171	18,851,167	125,884	18,977,051
その他の項目							
減価償却費	181,956	77,969	311,423	38	571,387	474	571,862

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、他劇場の演劇制作の請負及び運営管理、広告・宣伝の取扱、劇場・テレビ用の大道具製作、俳優養成及び芸能プロダクション経営事業等を含んでおります。

4. 報告セグメント合計額と中間連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

売上高	金額
報告セグメント計	5,793,081
「その他」の区分の売上高	1,147,205
セグメント間取引消去	233,464
中間連結財務諸表の売上高	6,706,822

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	289,835
「その他」の区分の利益	171,580
セグメント間取引消去	-
のれんの消去	461
全社費用（注）	254,362
中間連結財務諸表の営業利益	206,592

（注） 全社費用は、主に親会社本社の総務部門、経理部門等管理部門に係る一般管理費であります。

（単位：千円）

資産	金額
報告セグメント計	18,851,167
「その他」の区分の資産	125,884
全社資産（注）	5,528,256
中間連結財務諸表の資産合計	24,505,307

（注） 全社資産は、主に親会社での余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）及び管理部門に係る資産等であります。

（単位：千円）

その他の項目	報告セグメント計	調整額	中間連結財務諸表計上額
減価償却費	571,387	14,368	585,756

(訂正後)

前中間連結会計期間(自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「興行事業」、「附帯事業」、「不動産事業」及び「内装工事業」の4つを報告セグメントとしております。

「興行事業」は、明治座における演劇の興行を行っております。「附帯事業」は、明治座における売店販売及び食堂販売、会議や葬儀等のケータリングサービス、浜町亭、夢やぐら、葆の里、ニュー葆里湛、六本木濱田家等の居酒屋・料理店の経営を行っております。「不動産事業」は、浜町センタービル、明治座森下スタジオ、人形町ACTビル等の不動産賃貸を行っております。「内装工事業」は、建物の内装及び設備工事を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益(のれん償却前)ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	興行事業	附帯事業	不動産事業	内装工事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,451,373	1,734,176	796,299	1,579,316	5,561,165	820,178	6,381,343
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,590	559	35,823	358	38,333	5,125	43,458
計	1,452,964	1,734,736	832,123	1,579,674	5,599,498	825,303	6,424,802
セグメント利益又はセグメント損失()	61,750	58,628	325,251	39,529	361,660	132,410	494,070
セグメント資産	5,224,804	2,070,081	10,826,306	954,909	19,076,101	57,212	19,133,313
その他の項目							
減価償却費	185,664	83,995	318,883	112	588,656	2,782	591,438

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、他劇場の演劇制作の請負及び運営管理、広告・宣伝の取扱、劇場・テレビ用の大道具製作、俳優養成及び芸能プロダクション経営事業等を含んでおります。

4. 報告セグメント合計額と中間連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

売上高	金額
報告セグメント計	5,599,498
「その他」の区分の売上高	825,303
セグメント間取引消去	43,458
中間連結財務諸表の売上高	6,381,343

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	361,660
「その他」の区分の利益	132,410
セグメント間取引消去	185
のれんの消去	461
全社費用（注）	202,687
中間連結財務諸表の営業利益	290,064

（注） 全社費用は、主に親会社本社の総務部門、経理部門等管理部門に係る一般管理費であります。

（単位：千円）

資産	金額
報告セグメント計	19,076,101
「その他」の区分の資産	57,212
全社資産（注）	6,152,026
中間連結財務諸表の資産合計	25,285,340

（注） 全社資産は、主に親会社での余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）及び管理部門に係る資産等であります。

（単位：千円）

その他の項目	報告セグメント計	調整額	中間連結財務諸表計上額
減価償却費	588,656	8,333	596,989

当中間連結会計期間（自 平成23年 9月 1日 至 平成24年 2月29日）

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「興行事業」、「附帯事業」、「不動産事業」及び「内装工事業」の4つを報告セグメントとしております。

「興行事業」は、明治座における演劇の興行を行っております。「附帯事業」は、明治座における売店販売及び食堂販売、会議や葬儀等のケータリングサービス、浜町亭、夢やぐら、葆の里、ニュー葆里港、六本木濱田家等の居酒屋・料理店の経営を行っております。「不動産事業」は、浜町センタービル、明治座森下スタジオ、人形町ACTビル等の不動産賃貸を行っております。「内装工事業」は、建物の内装及び設備工事を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益（のれん償却前）ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	興行事業	附帯事業	不動産事業	内装工事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,519,908	1,632,569	766,792	1,835,846	5,755,116	951,706	6,706,822
セグメント間の内部売上高又は振替高	806	624	35,823	710	37,965	195,498	233,464
計	1,520,714	1,633,194	802,616	1,836,556	5,793,081	1,147,205	6,940,287
セグメント利益又はセグメント損失()	170,863	69,468	313,840	77,390	289,835	171,580	461,416
セグメント資産	4,906,838	2,115,440	10,556,271	843,171	18,421,721	125,884	18,547,605
その他の項目							
減価償却費	181,956	77,969	311,423	38	571,387	474	571,862

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、他劇場の演劇制作の請負及び運営管理、広告・宣伝の取扱、劇場・テレビ用の大道具製作、俳優養成及び芸能プロダクション経営事業等を含んでおります。

4. 報告セグメント合計額と中間連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

売上高	金額
報告セグメント計	5,793,081
「その他」の区分の売上高	1,147,205
セグメント間取引消去	233,464
中間連結財務諸表の売上高	6,706,822

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	289,835
「その他」の区分の利益	171,580
セグメント間取引消去	-
のれんの消去	461
全社費用（注）	254,362
中間連結財務諸表の営業利益	206,592

（注） 全社費用は、主に親会社本社の総務部門、経理部門等管理部門に係る一般管理費であります。

（単位：千円）

資産	金額
報告セグメント計	18,421,721
「その他」の区分の資産	125,884
全社資産（注）	5,528,256
中間連結財務諸表の資産合計	24,075,861

（注） 全社資産は、主に親会社での余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）及び管理部門に係る資産等であります。

（単位：千円）

その他の項目	報告セグメント計	調整額	中間連結財務諸表計上額
減価償却費	571,387	14,368	585,756

(1株当たり情報)

(訂正前)

	前中間連結会計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)
1株当たり中間純利益金額又は1株当たり中間純損失金額()	14.04円	3.88円
(算定上の基礎)		
中間純利益金額又は中間純損失金額() (千円)	55,857	15,447
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る中間純利益金額又は中間純損失金額()(千円)	55,857	15,447
普通株式の期中平均株式数(株)	3,979,963	3,979,922
(注) 前中間連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、1株当たり中間純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、当中間連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当中間連結会計期間 (平成24年2月29日)
1株当たり純資産額	443.27円	446.77円
(算定上の基礎)		
純資産の部の合計額(千円)	1,765,459	1,769,411
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	1,275	8,694
(うち少数株主持分)(千円)	(1,275)	(8,694)
普通株式に係る中間期末(期末)の純資産額 (千円)	1,764,184	1,778,106
1株当たり純資産額の算定に用いられた中間期末 (期末)の普通株式の数(株)	3,979,922	3,979,922

(訂正後)

	前中間連結会計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)
1株当たり中間純利益金額又は1株当たり中間純損失金額()	14.04円	3.88円
(算定上の基礎)		
中間純利益金額又は中間純損失金額() (千円)	55,857	15,447
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る中間純利益金額又は中間純損失金額()(千円)	55,857	15,447
普通株式の期中平均株式数(株)	3,979,963	3,979,922
(注) 前中間連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、1株当たり中間純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、当中間連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当中間連結会計期間 (平成24年2月29日)
1株当たり純資産額	335.37円	338.87円
(算定上の基礎)		
純資産の部の合計額(千円)	1,336,013	1,339,965
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	1,275	8,694
(うち少数株主持分)(千円)	(1,275)	(8,694)
普通株式に係る中間期末(期末)の純資産額 (千円)	1,334,738	1,348,660
1株当たり純資産額の算定に用いられた中間期末 (期末)の普通株式の数(株)	3,979,922	3,979,922

独立監査人の中間監査報告書

平成27年4月9日

株式会社明治座

取締役会 御中

監査法人セントラル

代表社員
業務執行社員 公認会計士 廣田 弘 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 松本 典久 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている株式会社明治座の平成23年9月1日から平成24年8月31日までの連結会計年度の中間連結会計期間（平成23年9月1日から平成24年2月29日まで）に係る訂正後の中間連結財務諸表、すなわち、中間連結貸借対照表、中間連結損益計算書、中間連結包括利益計算書、中間連結株主資本等変動計算書、中間連結キャッシュ・フロー計算書、中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項及びその他の注記について中間監査を行った。

中間連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間連結財務諸表の作成基準に準拠して中間連結財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間連結財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間連結財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間連結財務諸表には全体として中間連結財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間連結財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間連結財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間連結財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間連結財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社明治座及び連結子会社の平成24年2月29日現在の財政状態並びに同日をもって終了する中間連結会計期間（平成23年9月1日から平成24年2月29日まで）の経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

その他の事項

半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は中間連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の中間連結財務諸表に対して平成24年5月25日に監査報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. 中間連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。